

## 令和6年度府中市交通安全対策審議会会議録（要旨）

- 日時 令和7年2月6日（木）午後3時から午後3時50分
- 会場 府中駅北第2庁舎 3階会議室
- 出席者
  - （委員） からさわ委員、坂本委員、山本委員、渡辺（し）委員、松村委員、中原委員、長谷川委員、出戸委員、平原委員、松本委員、戸塚委員、渡辺（た）委員、清水委員、須永委員、鈴木委員、志水委員、菅原委員、古賀委員、浅野委員 以上19名
  - （事務局） 新藤生活環境部長、田代地域安全対策課長、有村地域安全対策課安全係長、一森地域安全対策課主査 以上4名
- 欠席者
  - （委員） 佐藤委員、川辺委員、荒井委員、西尾委員 以上4名
- 傍聴者 なし
- 次第
  - 1 議題
    - (1) 府中市の交通事故の状況について（府中警察署）
    - (2) 府中市交通安全計画の評価について（府中市）
    - (3) その他
- 配付資料
  - 資料1 令和6年度府中市交通安全対策審議会名簿
  - 資料2 府中市の交通事故情勢（府中警察署）
  - 資料3 府中市交通安全計画の取り組み状況（府中市）
- 会議録（要旨）

### 【事務局】

皆さま、本日は大変お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。

審議会の前に事務局よりお願いがございます。会議録の作成をスムーズに行うため、審議会開催中は録音をさせていただきますことをご了承

ください。

以降の議事進行につきましては松本会長にお願いしたいと思います。  
松本会長よろしくお願いいたします。

### 【会長】

皆さま、本日は大変お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。  
府中市交通安全対策審議会会長の松本でございます。

ただいまより、令和6年度府中市交通安全対策審議会を開催いたします。まず始めに、本日の出席状況について事務局から報告をお願いします。

### 【事務局】

本日の出席状況の前に、委員に変更がございますのでご報告させていただきます。

推薦団体の人事異動などにより4名の委員の変更がございます。府中警察署の佐藤委員、府中消防署の長谷川委員、府中市教育委員会の平原委員、府中私立保育園園長会の鈴木委員が新たに委員に選出されておりますことをご報告いたします。お手元に新しい委員名簿をお配りしておりますので後ほどご確認ください。

なお、委嘱状につきましては、本来であれば新たな委員の方へ、市長からお一人お一人にお渡しするところがございますが、時間の関係もございましたので後ほどお渡しさせていただきますことをご了承ください。また、任期につきましては前任者の残任期間となりますので、他の委員と同じ令和8年1月31日までとなります。

それではここで、新たに委員に就任された方々に自己紹介をお願いしたいと思いますので、長谷川委員から順番にお願いいたします。

(委員自己紹介)

ありがとうございました。ここで恐れ入りますが、前回の審議会から事務局にも異動がございましたので自己紹介させていただきます。

(事務局自己紹介)

(委員出席状況報告)

**【会長】**

続いて、本日の傍聴希望者はいらっしゃいますでしょうか。

**【事務局】**

本日の傍聴希望者はありません。

**【会長】**

続いて、本日の配布資料について事務局からお願いします。

**【事務局】**

(配付資料確認)

**【会長】**

それでは、議事に進みたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。なお、質問や意見のある方は挙手をいただき、お名前をおっしゃっていただきますよう、よろしくお願ひします。

まず初めに、議題1「府中市の交通事故情勢」について、府中警察署から説明をお願いします。

**【委員】**

お手元の資料2に基づいて、ご説明いたします。

はじめに、「府中市の過去5年間の交通事故発生状況」についてですが、令和2年から令和6年までの交通事故発生数の推移となります。

発生件数については、令和2年から増加、減少を交互に繰り返しているような状況ですが、昨年の269件という数値は、過去の記録を見ましても最も少ない発生件数となっています。

また、交通事故による死者数は、令和元年以来となる、年間を通じた交通死亡事故ゼロの達成まであと僅かというところまで迫りましたが、10月25日に二輪車の単独事故による死亡事故が発生し、目標の達成は叶いませんでした。なお、交通死亡事故の概要については、後程ご説明いたします。

次に、都内の交通事故による死者数は、令和4年に戦後最少となる132名を記録するなど、ここ数年130名台で推移していましたが、昨

年の死者数は146名で、前年比+10名と大幅に増加しました。なお、この146名という数値は、全国都道府県の中でも最も多く、4年振りの全国ワースト1位となっています。ただし、人口10万人に相当する死者数を算出しますと、徳島県が4.75人と最も多く、東京都内は1.04人で最も少ない数値となります。

続いて、昨年の府中市内の交通事故発生状況についてご説明します。人身事故の発生件数が269件で、昨年同期比-21件。死者数が1名で-2名。重傷者数が18名で+5名。軽傷者数が290名で-15名となっております。

また、資料には記載がありませんが、交通事故の一番多い時間帯については、午後6時から午後8時の間で45件の発生があり、次いで午前8時から午前10時の間が42件となっています。この発生状況については、例年とほぼ同じ傾向で、いわゆる薄暮時間帯と言われる夕方の時間帯、通学・出勤時間帯にかかる早朝の時間帯に多く発生しております。

次に、昨年発生した交通人身事故発生件数269件に対する、当事者別の事故関与率について説明します。関与率が低い順から、子どもの事故件数が14件で、関与率が5.2%。以下、二輪車が53件で19%。貨物車が85件で28.8%。高齢者が87件で29.4%。自転車が110件で37.5%となっており、昨年同様に自転車の人身事故が関与率、発生件数ともに最も多くなっています。しかしながら、前年と比較すると発生件数が-4件、関与率は3.5%減少するなど、一定の改善点も見られました。

また、高齢者の事故が前年比-19件、貨物車が前年比-9件減少するなど、全般的に減少傾向にある中で、二輪車の発生件数のみが+6件と増加しており、今後の大きな課題となっています。

この二輪車の事故は重大事故に直結することを踏まえ、二輪車販売店に来店するライダーに対しての、装備品の有効活用を目的とした周知活動、府中試験場等の協力を得てライティングスクールの実施、各種媒体を活用した交通安全情報のタイムリーな発信、取締の強化などにより、二輪車関与事故の抑止に努めていきたいと考えております。

次に、「府中市における死亡事故の概要」についてご説明いたします。態様については二輪車の単独転倒事故になりますが、10月25日(金)午後6時15分頃、60代の男性が、押立町1丁目のしみず下通りを二

輪車で走行中、何らかの要因でバランスを崩し、縁石に接触した後に転倒した事故となります。府中市内における死亡事故については、この1件のみとなります。

最後に、資料のチラシを添付していますが、高齢者が道路を横断中の事故が多発しています。高齢者の交通死亡事故の発生状況を分析すると、例年、道路横断中の事故が大半を占めており、昨年も全体の42.1%が道路横断中の事故で占められています。

こういった現状を打開するため、府中市地域安全対策課や府中交通安全協会等の皆様には、高齢者交通安全教室などを精力的に主催していただいたところですが、今後も、あらゆる機会を捉えて、資料に記載してあります反射材の有効性や明るい服装の着用、その他高齢者の交通事故防止に関する情報を幅広く発信して、高齢者の交通事故抑止に繋げていきたいと考えています。

以上が、府中市の交通事故情勢についての説明となりますが、1点追加でご報告させていただきます。1月31日（金）、甲州街道の美好町二丁目交差点におきまして死亡事故が発生しております。50代の男性が横断歩道を横断中に、国立方向から調布方向へ進行してきた軽乗用車に撥ね飛ばされた事故でございます。

当署といたしましては、府中市内から悲惨な交通事故をなくすため、各関係機関。協力者の皆様と連携を密に、各種対策を推進してまいりますので、何卒ご協力の程をお願い致します。

#### 【会長】

ありがとうございました。何かご質問等はございませんか。

#### 【委員】

交通事故情勢について2点お伺いします。1つは昨年から免許が無くても電動キックボードに乗れるように区分が変わったと思いますが、市内で電動キックボードによる事故はどのくらい発生しているのか。

もう1点は、高齢車が横断中の事故が多発しているとのことですが、横断歩道を渡っている際の事故という認識で良いのかお伺いします。

#### 【委員】

電動キックボードの交通事故については昨年は1件のみ、取締りは

2件ということで、現状では府中市内に電動キックボードを置くポートがありませんので多く発生していない状況です。

高齢者の横断中の事故については、横断歩道を渡っている際が多く、また自宅から半径500m以内の普段良く利用する道での発生が多いのが特徴です。

**【会長】**

ありがとうございます。他にご質問はありますでしょうか。

**【委員】**

自転車に乗車される方の違反罰則が強化されましたが、府中市で取り締まりを行った内容と件数をお聞かせください。

**【委員】**

罰則強化についての法律が正式に施行されるのはもう少し時間が掛かりますが、それに備えて取り締まりは強化しております。正確な件数は出ておりませんが、特に府中駅・分倍河原駅周辺は強化しており、昨年は一昨年と比べて倍近い件数を取り締まっております。その成果もあって事故件数は若干減少しており、割合は30%後半と高いですが第八方面内では最も少ない数値となっています。

**【会長】**

ありがとうございます。よろしいでしょうか。  
他にご質問はありますでしょうか。

**【委員】**

自転車に乗る時のヘルメット着用は強制ではないですね。

**【委員】**

現在は努力義務なので罰則にはなりません。過去を見てもシートベルトも最初は努力義務でしたので、将来に向けて広報啓発を実施して参ります。

**【会長】**

他にご質問はありますでしょうか。

**【委員】**

当事者関与率の件数を全部足すと350件程になってしまうのですが、これは二輪車と子どもの場合、それぞれカウントされているという理解でよろしいでしょうか。

**【委員】**

関与率については、被害者・加害者とありますので正確な数値となりませんが、子どもが自転車に乗っていて事故になった場合、子どもと自転車にそれぞれカウントされています。

**【委員】**

この数値はホームページ等で公表されているのでしょうか。

**【委員】**

公表されているものですが、これ以上詳しいものは出ておりません。

**【会長】**

他にご質問はありますでしょうか。

(発言なし)

それでは次に、議題（2）「府中市交通安全計画の評価」について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

それでは、議題（2）についてご説明いたします。

本市が令和4年度に策定しております「府中市交通安全計画」は、本市の実情に合わせた計画的な交通安全対策に取り組むための計画策定について、市長より本審議会に諮問されたことを受け、委員の皆さまのご意見をいただきながら5回の会議で議論を重ねた計画案を市長へ答申し、パブリックコメント手続きを経て令和5年度から12年度を期間とする計画を策定したものでございます。

本計画では、計画の進捗状況を本審議会に報告し、評価・検証をすることで、今後の施策展開にいかすこととしていることから、今回は計画策定後初めてとなる評価をお願いするものであります。

資料3をご覧ください。まず始めに、本計画の抜粋となりますが、設定目標についてご説明いたします。本計画では、①令和12年までの計画期間中、年間の死亡事故数ゼロを目指すこと。②令和12年までに、年間の交通事故件数を260件以下に減少させることの2つを目標に掲げております。なお、本計画の上位計画である「第7次府中市総合計画」の前期基本計画では、令和7年の交通事故件数の目標値として288件に減少させることが示されております。

次に、本市のこれまでの状況についてご説明させていただきます。資料の下段に、事故件数の推移を記載しておりますが、①の死亡事故数についてでございますが、令和5年は3件、令和6年は1件となっており、残念ながら目標達成には至りませんでした。次に、②の交通事故件数についてでございますが、令和5年は291件、令和6年は269件となっており、目標達成に向けて順調に推移しているものと捉えております。

裏面をご覧ください。本計画の目標達成に向けて取り組むこととしている、講じる施策と実施主体を示した一覧になります。まず、講じる施策を大きく6つの体系に分類し、更に、施策の対象や内容などを明確に分類した上で、北多摩南部建設事務所・府中警察署・府中交通安全協会・府中消防署・府中市のどこが実施主体となるのかを示したものとなります。

次に、A3版の資料をご覧ください。今回の評価を実施するにあたり、各実施主体にご協力いただき、施策の取り組み状況をご報告いただいたものを取りまとめた資料となります。各実施主体における実施状況を「○×」で標記し、実施している場合には具体的な実施内容を記載しております。なお、灰色に塗られた項目は、実施主体の対象となっていない施策でございます。1ページから4ページは令和5年度の取り組み状況、5ページから8ページは令和6年度の取り組み状況となっており、令和6年度については12月末現在の状況となります。なお、府中警察署の状況につきましては、年度ではなく暦年での報告となっておりますのでご承知おきください。

それでは、取り組み状況について、両年度合わせてご説明させていた

できます。1 ページと 5 ページをご覧ください。

「1 交通安全意識の啓発」の「(1) 段階的・体系的な交通安全教育の推進」については、「ア」から「カ」までの施策について、幼児交通安全教室や高齢者交通安全講習会など、学齢や年齢層に応じた教育施策をはじめ、小学生・高齢者自転車競技大会や運転者講習会、自転車に関するキャンペーンを通じた啓発など、交通手段に応じた施策が警察・交通安全協会・市、または各団体の連携により実施する事業を通じて、交通安全教育の推進に取り組んでいるほか、自転車用ヘルメット購入費助成事業や運転免許証自主返納支援事業を通じて交通安全意識の啓発に取り組んでおります。

「(2) 地域における交通安全意識の高揚」については、「ア」から「ウ」までの施策について、文化センターなど各地域で実施する講習会や交通安全教室、春と秋の交通安全パレードなど、警察・交通安全協会・市の連携により実施する事業を通じて交通安全意識の高揚に取り組んでいるほか、各地域で活動されている交通安全協会の会員募集にも取り組んでおります。

2 ページと 6 ページをご覧ください。

「(3) 交通安全に関する広報啓発活動の充実・強化」については、「ア」から「カ」までの施策について、交通ルールの徹底、交通マナーの向上を目的とした広報活動や、各種キャンペーンの周知や取り組み内容を各種広報媒体を活用して発信するほか、市内小中学校にも協力いただき実施している交通安全コンクールを通じて交通安全意識の啓発に取り組んでおります。

続きまして、「2 道路交通環境の整備」の「(1) 安全安心な生活道路の構築」については、「ア」から「イ」までの施策について、学校・警察・市による合同通学路点検や、警察・市による生活道路合同パトロールが実施されているほか、道路の補修をはじめ、歩道幅員の拡張やバリアフリー化、視覚障害者ブロック改修、区画線の塗り替えやカラー舗装、道路反射鏡の設置補修など道路交通環境の整備に取り組んでおります。

「(2) 道路の整備による交通安全対策の推進」については、「ア」から「ウ」までの施策について、道路の補修をはじめ、交差点の改良、府中 3・2・2 の 2 号線などの道路整備、「第 3 次交差点すいすいプラン」に基づく円滑な交通確保に取り組んでおります。

3 ページと 7 ページをご覧ください。

「(3) 交通安全施設等整備事業の推進」については、「ア」から「オ」までの施策について、防護柵の補修、区画線の設置、自転車ストップマーク等の塗り替え、カラー舗装、道路反射鏡の設置補修、信号機の設置や調整、エスコートゾーンの新設や補修などに取り組んでおります。

「(4) 交通実態に即した交通規制の実施」については、「ア」から「オ」までの施策について、交差点右折矢印の付加や信号サイクルの調整、ゆとりシグナル設置の上申、自転車歩道走行可規制の整備、自転車横断帯の廃止などに取り組んでおります。

「(5) 自転車利用環境の総合的整備」については、「ア」から「イ」までの施策について、道路整備に合わせた確保や自転車歩道走行可規制の整備、自転車ナビマークの設置や塗り替えのほか、自転車駐車場精算機のキャッシュレス決済対応や大型自転車駐車スペースの設置に取り組んでおります。

「(6) 公共交通機関利用の促進」については、地域公共交通計画の策定、地域公共交通ネットワーク再編計画の素案の作成のほか、ちゅうバス 20 周年及び市制施行 70 周年記念時にラッピングバスの運行を実施しております。

「(7) 踏切の交通安全」については、「ア」から「イ」までの施策について、東京都・鉄道事業者への陳情・要望を実施しております。

4 ページと 8 ページをご覧ください。

続きまして、「3 道路交通秩序の維持」の「(1) 指導取締りの強化」については、「ア」から「オ」までの施策について、飲酒検問や速度違反等の取締り、登下校時間帯に通学路付近での交通違反取締りのほか、自転車利用者に対する交通切符による取締りに取り組んでおります。

「(2) 駐車秩序の確立」については「ア」から「イ」までの施策について、ガイドラインを中心とする違法駐車取締りのほか、放置自転車の撤去や自転車誘導整理員の配置により駐車秩序の確立に取り組んでおります。

続きまして、「4 救助・救急体制の整備・充実」の「(1) 交通救助・救護体制の充実・強化」については、交通救助の現場においてポンプ車に積載の応急救護資器材を活用した救護活動を実施しております。

「(2) 市民に対する応急手当の普及啓発」については、火災予防運

動や府中市総合防災訓練等の機会に応急手当の普及啓発を実施しております。

「(3)「#7119」東京消防庁救急相談センターの利用促進及び運営体制の強化」については、火災予防運動や府中市総合防災訓練等の機会に普及啓発を行うとともに、民間事業者の協力を得てデジタルサイネージによる広報を実施しております。

続きまして、「5 被害者の支援」の「(1)交通事故相談業務の実施」については、交通事故相談を毎月実施しております。

「(2)自動車・自転車損害賠償責任保険等への加入」については、「ア」から「イ」までの施策について、東京都市町村民交通災害共済をホームページや広報紙などで周知するとともに、掛金について一部公費負担を行っているほか、自転車損害賠償保険等への加入義務化をホームページで周知しております。

続きまして、「6 災害に強い交通施設等の整備及び災害の交通安全の確保」の「(1)災害に強い交通施設等の整備」については、「ア」から「イ」までの施策について、立体橋の耐震補強工事や道路整備による、災害に強い施設等の整備に取り組んでおります。

「(2)災害時の交通安全確保」については、「ア」から「イ」までの施策について、防災訓練に伴う緊急自動車専用路確保訓練などの実施のほか、発災時の対応パンフレット配布による啓発など、災害時の交通安全確保に取り組んでおります。

以上、取り組み状況についてご説明させていただきましたが、本市の状況といたしましては、最初にご説明したとおり、交通事故件数が減少傾向であることから、各施策については順調に取り組んでいるものと捉えております。

しかし、先程、府中警察署の中原交通課長からのご報告にもありましたとおり、残念ながら令和7年においても、既に死亡事故が1件発生している状況がございますので、これ以上死亡事故が発生しないよう、引き続き、関係各所と連携をしながら、本計画の目標達成に向けて交通安全施策を実施してまいりたいと考えております。

以上で、進捗状況の報告を終わります。

## 【会長】

事務局から、府中市交通安全計画の進捗状況についての報告があり

ました。ただいまの説明で何かご質問や、評価などに関するご意見はございますか。

#### 【委員】

何点かお伺いしたいのですが、府中警察署が取り組んでいる二輪車運転者に対する交通安全教育の二輪車ストップ作戦等各種キャンペーンについて、私もバイクに乗りますがどのような形で行われているのかを教えてください。

次に、大國魂神社東交差点に右折信号が設置されましたが、これまでは渋滞して中々右折できなかつたので良い取り組みだと思いますが、設置に至った経緯を教えてください。

三つめは、道路交通環境の整備で道路課が取り組んでいる道路反射鏡の設置補修について、令和6年度は新設が0件となっておりますが、市民からの設置要望がどのような形で寄せられているのか教えてください。

#### 【委員】

二輪車ストップ作戦については、市内の二輪車事故の発生場所や時間帯を分析して、毎月1～2回実施しております。

大國魂神社東交差点の右折信号については、様々な方面から府中署に要望があり、府中署と警視庁本部の担当と現地の状況や信号サイクルの調査を行ったうえで実施したものです。

#### 【事務局】

本日道路課が同席しておりませんが、確かなお話は出来ませんが、道路反射鏡の設置要望は市民の方など各方面からあると伺っているところですが、道路反射鏡の設置基準があると聞いており、基準に適合するのであれば設置をしていく。ただ、既に設置されているものには現在の基準に適合しないものもあるようですが、撤去はせずに補修により維持していると聞いております。

#### 【会長】

ほかにご質問などはございますか。

### 【委員】

質問ではないのですが状況報告をお伺いしまして、警察の方が通学路での歩行や横断、自転車の乗り方などの交通安全教室を実施していただいております、私も学校現場に勤めていた時に有難さを痛感しておりました。

子どもたちは通学路などでちょっと興味や関心が向いてしまうと、交通ルールを理解していても、とっさに感情的に動いてしまい、ヒヤリハットに繋がるいくつかの事例を対応した時、改めて交通安全の大切さを感じておりました。

警察の方が学校へ来てくださって実際に指導して下さる。学校も連携する。教育委員会としても学校に対して指導、啓発していくことの重要性を改めて今回お伺いして感じました。

これからも学校、教育委員会として、安全を守るということを警察の方と連携を取りながらやっていくことが重要だと痛感いたしました。

### 【会長】

貴重なご意見ありがとうございました。ほかにご質問などはございますか。

### 【委員】

実施状況の「×」は、実施をしないということでしょうか。令和5年度と6年度の両方で、高齢者に対する交通安全教育が「×」となっているが、令和7年度も実施しないという受け止め方でよろしいのか。

あと、府中駅のロータリーを挟んで、西側と東側を渡りたいという声が多いのですが、この付近で事故が多発するとか注視しているなどありましたら教えてください。

### 【会長】

最初の質問は交通安全協会に対するものだと思います。こちらに関しては、高齢者に特化したものは行われておりませんが、実際にはシルバー人材センターでの活動で、普段から車や自転車を利用される方々への指導を行っています。その他にも、地域で見守り活動をされている方々の多くは高齢者で、児童の登下校を見守っている際、子どもが急に飛び出すと釣られて飛び出してしまうこともあって危険なため、そう

いったことが無いよう指導を行っています。

今後も色々な形で高齢者に対する指導を行って参りたいと思いますけれども、現実にも、目の前で起こりそうな事が未然に防げたら一番良いだろうということで行っておりますので、そのようにお考えいただけたらと思います。

それから、ロータリーについてお願いします。

#### 【委員】

府中駅ロータリー付近に関しては、特に交通人身事故が多く発生しているという認識はございません。

#### 【事務局】

府中駅ロータリーの横断について、現在横断できるフォーリス付近の交差点と国道20号との間に横断歩道を設置して欲しいとの要望はいただいており、警察にもお伝えしているところですが、信号と信号との兼ね合いなど協議をしているところでもあり、今すぐにといったことにはなりません、そのような声があることは承知しております。

#### 【委員】

設置基準として距離や通行量などがございますので、今後調査をして基準に該当するようであれば検討して参りたいと思います。

#### 【委員】

府中駅のロータリーについては、交通安全の観点から横断歩道があった方が良くと思うところもあり、西側と東側が分断されて賑わい創出に繋がっていないという地元の声もあります。無理に渡ろうとするお爺さんもいて危ないなと思って見ていたので、調査研究しているのか分かりませんが進めて欲しいと思います。

あと、朝日町に大型商業施設が出来ますが、スタジアム通りも横断歩道が少ないので、工事が始まって大型トラックが多くなりますので、こちらについても調査研究をしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

実施状況が空欄で「×」だと、やっていないと思うので、標記を変えた方が良くと思います。

**【会長】**

ありがとうございました。ほかにご質問などはございますか。

(発言なし)

それでは、特に無いようですので、府中市交通安全計画の進捗状況については、皆さまのご意見を踏まえて順調に取り組まれているとの評価でよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございます。

次に、議題(3)「その他」となりますが、委員の皆さまから何かございますか。

(発言なし)

特に無いようですので、事務局からは何か連絡はありますか。

**【事務局】**

事務局からは2点ございます。1点目は今回の会議録についてでございます。

後日、会議録案ができましたら、出席委員の皆さまに確認をお願いする予定でございます。確認いただいた後、発言委員の氏名を削除してホームページで公開いたしますのでご承知おきください。

2点目は委員報酬に関してでございます。

委任状等のご提出をお願いさせていただきましたが、ご提出がまだの方がいらっしゃいましたら終了後に事務局までお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

**【会長】**

ただいまの説明で何かご質問等ございますか。

(発言なし)

それでは、以上で令和6年度交通安全対策審議会を終了いたします。  
ありがとうございました。

(閉会)